

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	赤れんがを活かした京都舞鶴港活性化プロジェクト	実施期間	平成23～26年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>海の京都の戦略拠点に指定する「赤れんが倉庫群」は、明治から大正期にかけて旧日本海軍により整備。平成20年に国の重要文化財に指定され、本市が全国に誇れる貴重な近代化遺産であり、重要な資源であることから、赤れんがパークとして整備を行っているところである。（海の京都構想と連携）</p> <p>また、天然の良港と呼ばれる京都舞鶴港は、平成23年11月には国土交通省から日本海側拠点港に選定され、関西圏唯一の日本海側ゲートウェイとしての必要性・重要性が高まっていることから、舞鶴市では、京都府・舞鶴港振興会と連携し、ハード・ソフト両面から貿易港としての機能強化を講じるとともに、大型クルーズ客船の誘致によるインバウンド観光など、京都舞鶴港を活かした地域活性化策に積極的に取り組んでいる。（京都舞鶴港ランドブリッジ構想と連携）</p> <p>これら本市固有の「港」と「赤れんが」を核として、地域経済の活性化を図り、都市像として掲げる「東アジアに躍動する国際港湾・交流都市」の実現を目指す。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>平成26年度に舞鶴若狭自動車道及び京都縦貫自動車道が全線開通し、また、平成26年度に舞鶴市を中心とした京都府北部の5市2町で開催する「海フェスタ」を弾みに、人流や物流の流れが大きく変わることから、これを好機としてとらえ「海の京都」を全国に発信する。</p> <p>平成25年度については、「海の京都構想」の戦略拠点として赤れんがパークの魅力アップに取り組むとともに、「海フェスタ」の開催準備や舞鶴港の築港100周年を記念したイベントの開催、京都舞鶴港のさらなる利用促進を図る。</p> <p>1. 「海の京都」戦略拠点「赤れんがパーク」の魅力アップ  赤れんがパーク周辺一帯を「海の京都構想」の観光戦略拠点として位置付け、集中的に観光の拠点化を図るとともに、集客効果を赤れんがパーク周辺へ波及・発展させるため、市内事業者による魅力アップのための「逸品」、観光土産品、グルメの開発、おてなし向上対策など、観光産業の育成を積極的に支援する。</p> <p>(1) ブランド力向上とプロモーション強化のための「舞鶴赤れんがパークブランディング機構」の設置  (2) 赤れんが周辺の賑わいづくりのため、仮設店舗とキッチンカーによる舞鶴の食文化体験事業など、集客性の高いソフト事業を展開  (3) 遊覧船とループバスの増便による二次アクセスと回遊性の向上  (4) 大手広告代理店との連携による効果的な都市部への情報発信  (5) 観光土産品、グルメの開発、地域へのおてなし力の向上などに取り組み、幅広い誘客対策を実施  (6) 市内周辺部への回遊を高めるため、市の主要観光スポットである引揚記念館の整備を進めるとともに、ユネスコ世界記憶遺産登録を目指し魅力アップにつなげる。</p> <p>2. 京都舞鶴港を活用した人流・物流拡大戦略  (1) 大型クルーズ客船の誘致活動及び寄航対応  (2) 京都舞鶴港築港100周年記念イベント  (3) 「海フェスタ京都」の開催準備  (4) 市内企業の国際展示会出展支援  (5) 姉妹・友好都市交流、市民による文化交流支援  (6) 国際交流員の配置等</p>						
	総事業費（千円）	902,000	本年度事業費（千円）	164,953	交付金額（千円）	71,881	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績(出来高数値等)				
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	赤れんが観光戦略拠点化事業	交付対象事業	赤れんがパークのブランディング（ロゴ作成、仮設店舗等による食文化体験、プロジェクトマップ等）、旧鎮守府水道施設周辺整備等	仮設店舗への出店（5店舗）、赤れんがイルミネーションアート（プロジェクトマップ・来場者7,626名）、旅行誌を活用した情報発信、アセアンファッションウィークの開催、旧北吸浄水場第一配水池改修工事など
	観光産業振興事業	交付対象事業	おもてなし向上のための人材育成、観光土産品創出支援、着地型観光推進、海軍ゆかりの観光誘客等	全国に向けた舞鶴ブランドのプロモーション活動（首都圏・阪神圏）の実施、観光誘客パンフレットの作成（80,000部）、岩がき等地域ブランドのPR活動（岩がき丼キャンペーン 5,965食等）、まいづる地場産市場の開催、外国人観光客の誘致にかかるパンフレットの作成及びホームページの多言語化など
	世界記憶遺産登録推進事業	交付対象事業	風化しつつある引揚げ史実の継承と平和の尊さを発信するため、ユネスコ世界記憶遺産登録を目指す	有識者会議の開催（3回）、世界記憶遺産PR活動（平和シンポジウム、東京タワー特別展等）、世界記憶遺産への申請など
	京都舞鶴港を活用した人流拡大事業	交付対象事業	大型クルーズ客船の誘致活動及び寄港対応	大型クルーズ客船寄港にかかるおもてなし事業や京都舞鶴港発着クルーズの実施（サン・プリンセス：2回、コスタ・ビクトリア：2回、ぱしふいっくびいなす：3回）、舞鶴・丹後周遊クルーズ及び府民クルーズの実施、クルーズフォトコンテストの実施
	みなとのにぎわい創出事業	交付対象事業	京都舞鶴港築港100周年記念イベント（日本丸誘致）	帆船「日本丸」寄港（一般公開・シップスクールの開催、延来場者：4,000人）
	海フェスタ京都開催準備事業	交付対象事業	平成26年度に開催される「海フェスタ京都」の開催準備	海フェスタ実行委員会への補助金等
	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業	関連事業	「日本海側拠点港」選定を契機に、既存航路の活性化並びに新規航路の開拓に一層取り組むほか、客船クルーズ誘致に向けたポートセールス等を実施。	日本海側拠点港の機能別目標の早期実現に向けたトライアル事業等（浦項フェリートライアル等）
	京都舞鶴港振興会等補助事業	関連事業	一般社団法人京都舞鶴港振興会が行うポートセールス活動等への補助	
住民 協働事業	赤れんが文化創造・交流事業	交付対象事業	赤れんがパークで行われる市民主体の賑わい創出活動への支援、FM活用情報発信、赤れんがパーク整備	赤れんが鉄道フェスタ（来場者：2,270人）、ライトアート等の開催、エフエム京都によるイベント・観光情報の発信（毎週）、赤れんがフェスタin舞鶴の実施（来場者：約21,000人）、赤れんがパークにおけるライトアップの整備
	対岸諸国との交流拡大事業	交付対象事業	市内企業の国際展示会出展支援、姉妹・友好都市交流、市民による文化交流支援、国際交流員の配置等	市内中小企業の展示会出展等、販路開拓に対する補助（8件）、ポーツマス市訪問青少年英語研修（市内中高生11名参加）、舞鶴市代表団ポーツマス市訪問事業、日ロ沿岸市長会議等の開催（日本海側18市、ロシア側9市が参加）、舞鶴市青少年訪問団の浦項市への派遣（27名）、浦項市中学生サッカー訪問団の受入れ（25名）、国際交流員の配置（1名）

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	赤れんが倉庫群等の近代化遺産の活用数 (平成26年度：8件)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	7件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	赤れんが4号棟及び5号棟の整備完了に伴うもの。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	クルーズ客船の寄港回数（平成26年度：10回）		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	5回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の目標年度に至っていないものの、実績値としては過去最高を記録。船社等に対する誘致活動の成果が表れてきたものと考えており、引き続き取り組みを進めていく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	京都舞鶴港発着クルーズ回数（平成26年度：6回）		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	3回
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	成果指標の目標年度に至っていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	国際展示会への参加、経済ミッションの派遣 (平成26年度：10回)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	7回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の目標年度に至っていないが、今後、国レベルにおける対岸諸国（中国・韓国）との関係改善がなされれば、成果指標の達成は可能と考える。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	コンテナ年間取扱量の充実（平成26年度：10,000TEU）		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	6,906TEU
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の目標年度に至っていないが、取扱量は過去最高値を更新。25年5月に週2便体制となった韓国航路の利便性をPRするなど、現在も積極的なポートセールスを展開しており、26年度については年間約9,000TEUの集荷を見込んでいる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標⑥	成果指標の目標数値	対岸諸国におけるプロモーションの活動 (平成26年度：5回)		成果指標の実績値 (26年3月31日時点)	7回	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	日本海側拠点港の機能別目標の早期実現に向け、対岸諸国へのプロモーション活動を積極的に実施した結果、成果指標年度前に目標を達成することができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>赤れんが4号棟及び5号棟の整備完了に伴い、プロジェクションマッピングや赤れんがフェスタをはじめとする様々な仕掛けを施すなど、赤れんがパーク全体の魅力・ブランド力の底上げを図り、観光戦略拠点化に向け大きく前進した。併せて、舞鶴ブランドの全国的なプロモーション活動や、外国人観光客の誘致を念頭に置いたインバウンド戦略を実施するなど、国内外を問わず積極的な情報発信に努めた。</p> <p>また、京都舞鶴港の活性化及び利用促進については、成果指標目標値に至っていないものの、年間のコンテナ取扱量は着実に増大しているほか、大型クルーズ客船の誘致活動等が実を結び、年間寄港回数が過去最高値を更新するなど本市の人流・物流の拡大に大きく寄与していると言える。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	京都府及び一般社団法人舞鶴港振興会と連携の下、効果的なポートセールスの実施等により、コンテナ取扱数の増大を図ることができた。				
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府及び一般社団法人舞鶴港振興会と連携の下、効果的なポートセールスの実施等により、コンテナ取扱数の増大を図ることができた。				
	住民の自治意識を高める成果					
	リーディング・モデル成果	近代化遺産である赤れんが倉庫群を中心として、赤れんがパークを一体的に整備するとともに、プロジェクションマッピングをはじめとする様々な仕掛けを施すことで、観光戦略拠点としての魅力及び機能性を存分に発揮することができた。				
	広域的波及成果	「日本海側拠点港」選定を契機とし、京都舞鶴港を関西経済圏における日本海側の人流・物流拠点とするため、既存航路の活性化並びに定期航路の増便等に積極的に取り組んだ結果、平成25年6月、舞鶴－韓国航路の増便（週2便）が実現した。				
	行財政改革に資する成果					
その他の成果	姉妹友好都市及び京都舞鶴港における背後圏への人流・物流の拡大を通じて、さらなる信頼関係の構築に寄与することができた。 また、帆船「日本丸」誘致による築港100周年イベントを盛大に催すことができ、同港の賑わいづくりの一助となった。					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。